

# 富山県肝炎対策推進指針の概要(2023(令和5)年度～2027(令和9)年度)

## 趣旨

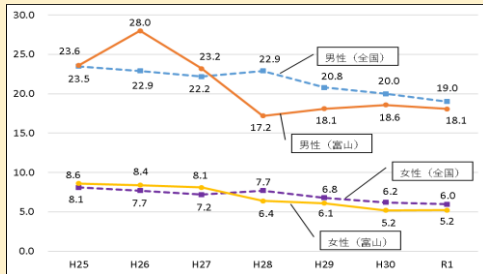
- 1 策定の趣旨** ウイルス性肝炎は、肝炎患者の半数にのぼり、長期間の経過後に肝硬変や肝がんを引き起こすことがあり、B型およびC型肝炎に係る対策が重要な課題となっている。本県においても国の基本指針の改正を反映するとともに、本県の現状を踏まえて現行の指針(平成30～令和4年度)を改正し、肝炎対策の推進を図る。
- 2 位置付け** 肝炎対策基本法の趣旨に基づき厚生労働大臣が策定した「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」を基に策定する。
- 3 期間** 令和5年度から令和9年度まで

## 肝炎を取り巻く状況

### 〇肝がん(肝及び肝内胆管がん)年齢調整罹患率

- 平成28年以降の年齢調整罹患率は男性・女性ともに県は全国を下回っている。
- 県の年齢調整罹患率は、男女とも全国と同様に減少傾向にある。

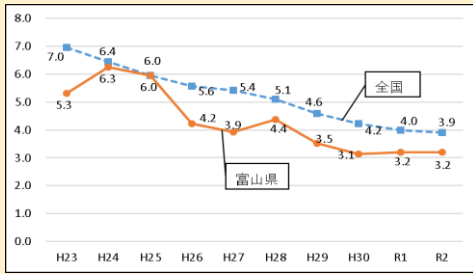
肝がん(肝及び肝内胆管がん)年齢調整罹患率の推移(人口10万対)



### 〇肝がん(肝及び肝内胆管がん)年齢調整死亡率(75歳未満)

- 県の75才未満年齢調整死亡率は全国値を下回って推移し、全国と同様に減少傾向である。

肝がん(肝及び肝内胆管がん)年齢調整死亡率の推移(人口10万対)



## これまでの取り組み

### 肝炎ウイルス検査

- 〇市町村・県での肝炎ウイルス検査の実施
  - B型：3,938人(H20～H28平均)→4,596人(H29～R2平均) **増加**
  - C型：3,941人(同上)→4,594人(同上) **増加**
- 〇妊婦一般健康診査及び母子感染防止対策
  - B型：6,224人(R2)、C型：6,207人(R2)
- 〇職場健診受診者への受検勧奨
  - 386人(H30)→550人(R3) **増加**

### 重症化予防

- 〇肝炎医療費の助成：(新規受給者証交付件数：4,454件(H20～R3の累計))
- 〇初回精密検査費用の助成：6件(R2)
- 〇定期検査費用の助成：23件(R3)
- 〇陽性者に対する精密検査受診率：86%(H28)→94.4%(R2) **増加**
- 〇陽性者のフォローアップ：(健康増進事業、特定感染症検査事業、職域検査)63%(H28)→85.7%(R3) **増加**  
 (妊婦一般健康診査)40.0%(H28)→28.6%(R2) **低下**
- 〇肝がん・重度肝硬変治療に関する医療費助成：43件(H30～R3の累計)

### 診療体制整備

- 〇肝疾患診療連携拠点病院及び肝疾患専門病院の指定(県立中央病院、市立砺波総合病院)
  - 〇肝炎診療ネットワークの推進
  - 〇肝疾患相談支援センターにおける肝臓病教室等の開催
  - 〇肝炎ウイルス持続感染者対応マニュアルによる治療の推進
  - 〇肝炎患者の健康管理手帳(わたしの健康管理手帳)の作成
- R2年度改正において、妊婦ウイルス陽性者のフォローアップのシステムを追加

### 人材育成

- 〇肝炎医療コーディネーター養成：123名(H30～R3の累計) **自治体や医療機関、介護施設等の各所属において増加**

### 普及啓発

- 〇肝炎総合対策推進国民運動事業「知って肝炎プロジェクト」への参加(H30年度)
- 〇肝臓週間における広報(チラシ、県ホームページ等)
- 〇肝炎ウイルス検査受検勧奨リーフレットによる普及啓発



## 全体目標

ウイルス性肝炎からの肝硬変又は肝がんへの移行者を減らす

## 個別施策

### (1) 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発

- ・肝炎についての広報活動の充実
- ・日常生活での感染予防に関する普及啓発
- ・職域との連携による啓発の実施
- ・医療機関による啓発の強化
- ・若年者に対する情報の提供
- ・感染ハイリスク者に対する情報の提供
- ・母子感染予防対策の継続実施
- ・予防接種事業の継続実施

#### <主な追加事項>

- ・肝炎患者の人権尊重の普及啓発
- ・B型・C型肝炎治療の進歩についての普及啓発
- ・B型肝炎治療によりウイルス抑制が可能となったことや、C型肝炎治療についてインターフェロンフリー治療によりウイルス排除が可能となったこと
- ・アートメイク等血液の付着する器具の共有を伴う行為の危険性に関する普及啓発

### (2) 肝炎検査の実施体制の充実

- ・肝炎ウイルス検査の関する広報活動の強化・職域におけるプライバシー配慮の徹底
- ・職域との連携による受検機会の拡充
- ・健診機関との連携による受検勧奨の強化
- ・受検機会の拡充
- ・検査に対する理解の向上

#### <主な追加事項>

- ・すべての人が一生に1回の受検が必要であることの普及啓発
- ・ウイルス陽性者の継続受診・精密検査費用の助成制度の周知

### (3) 要医療者に対する肝炎医療の提供と継続した保健指導體制の確保

- ・肝疾患診療連携拠点病院及び肝疾患専門病院に係る情報の提供・県肝炎診療協議会等の開催
- ・肝炎医療の最新情報の提供
- ・県作成「肝炎ウイルス持続感染者対応マニュアル」の活用
- ・肝炎治療の推進
- ・肝炎診療ネットワークの強化
- ・肝炎フォローアップ体制の整備・推進
- ・ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業の推進

#### <主な追加事項>

- ・重症化予防のためフォローアップ(定期受診)のさらなる促進
- ・ウイルス陽性の妊婦に対する切れ目ないフォローアップの実施

### (4) 肝炎の予防及び肝炎医療に関する人材の育成

- ・肝疾患診療連携拠点病院及び肝疾患専門病院の人材育成
- ・肝炎医療コーディネーターの養成

#### <主な追加事項>

- ・肝炎医療コーディネーター間における活動内容の共有

### (5) 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実

- ・肝疾患診療連携拠点病院及び肝疾患専門病院に係る情報の提供・人権に関する相談窓口の情報提供
- ・肝炎相談の充実
- ・肝疾患相談・支援センターの充実
- ・患者・家族と医療従事者とのコミュニケーションの場の提供
- ・患者・家族同士の情報交換の場の提供
- ・肝炎患者団体、行政機関、肝疾患診療連携拠点病院や医療関係者等との連携
- ・職域における取組み
- ・肝炎患者支援手帳(わたしの健康管理手帳)の活用

#### <主な追加事項>

- ・治療と仕事の両立支援ガイドラインによる職場環境の整備を推進
- ・肝炎患者支援手帳の活用による患者の自己管理の支援

## 指標

指標	項目	現状	目標
アウトカム指標	①肝及び肝内胆管がん年齢調整罹患率(人口10万対)	男性18.1、女性5.2(R1)	男性：減少する 女性：減少する
	②肝及び肝内胆管がん75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)	男性5.7、女性0.9(R2)	男性：減少する 女性：減少する
プロセス指標1	項目	現状	目標
	①肝炎ウイルス検査受検者数	B型4,596人、C型4,594人(H29～R2の平均)	毎年度4,000人
プロセス指標2	②肝炎ウイルス検査の受診率(40歳節目のみ)	9.4%(R2)	13%
	①精密検査受診率(健康増進事業、特定感染症検査等事業)	94.4%(R2)	100%
	②妊婦一般健康診査での肝炎ウイルス陽性となった妊婦の精密検査受診率	—	100%
	③陽性者フォローアップ実施率(健康増進事業、特定感染症検査等事業)	85.7%(R3)	100%
プロセス指標3	④妊婦一般健康診査における陽性者のフォローアップ実施率	28.6%(R2)	100%
プロセス指標3	①肝炎医療コーディネーター養成者数	123名(H30～R3累計)	今後5年間で150名養成

※下線は、追加・変更したものを示す